



アンデックスの排気装置を有機溶剤作業でご使用いただく場合、
電気部品の仕様を以下のように決めています。

局所排気装置(囲い式)でご使用の場合

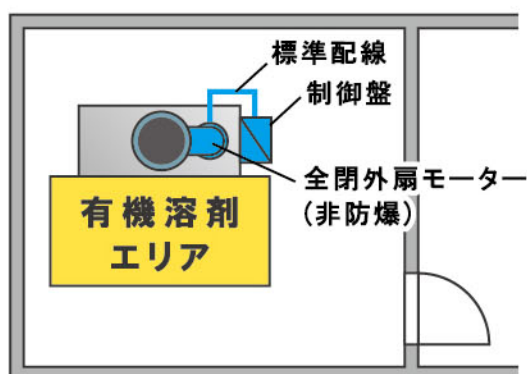
制御盤仕様

制御盤

標準配線

全閉外扇モーター(非防爆)

※推奨は防爆機器



局所排気装置(外付式) または、 全体換気装置でご使用の場合

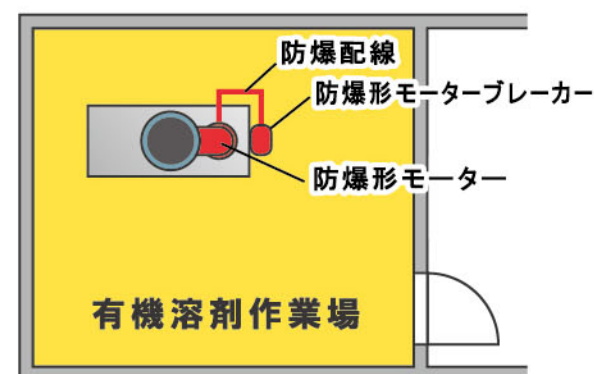
防爆形モーターブレーカー仕様

モーター容量 0.2kW ~ 5.5kW は防爆モーターブレーカーで対応

防爆形モーターブレーカー

防爆配線

防爆形モーター



局所排気装置(外付式) または、 全体換気装置でご使用の場合

制御盤仕様

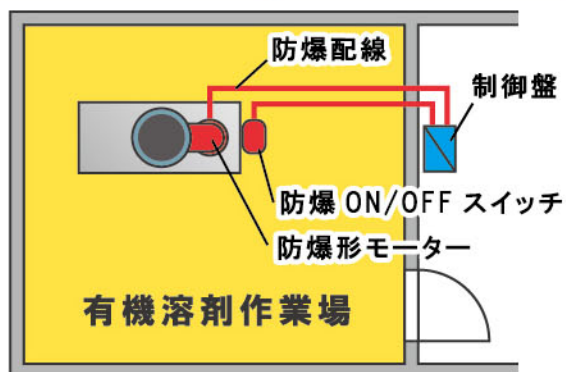
モーター容量 5.5kW 以上は別途制御盤が必要

防爆 ON/OFF スイッチ

制御盤(室外設置)

防爆配線

防爆形モーター



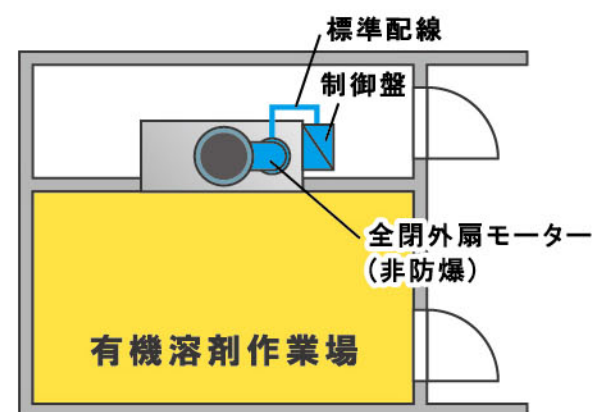
局所排気装置(外付式) または、 全体換気装置でご使用の場合

外付式全体換気仕様

制御盤

標準配線

全閉外扇モーター(非防爆)



フィルター式
局所排気装置 / 全体換気装置

排気マンシリーズ

Exhaust unit - HAIKIMAN

HAIKIMAN Exhaust unit



アンデックス株式会社

東京・大阪・名古屋・福岡・岐阜・尾道

ANDEX HP >



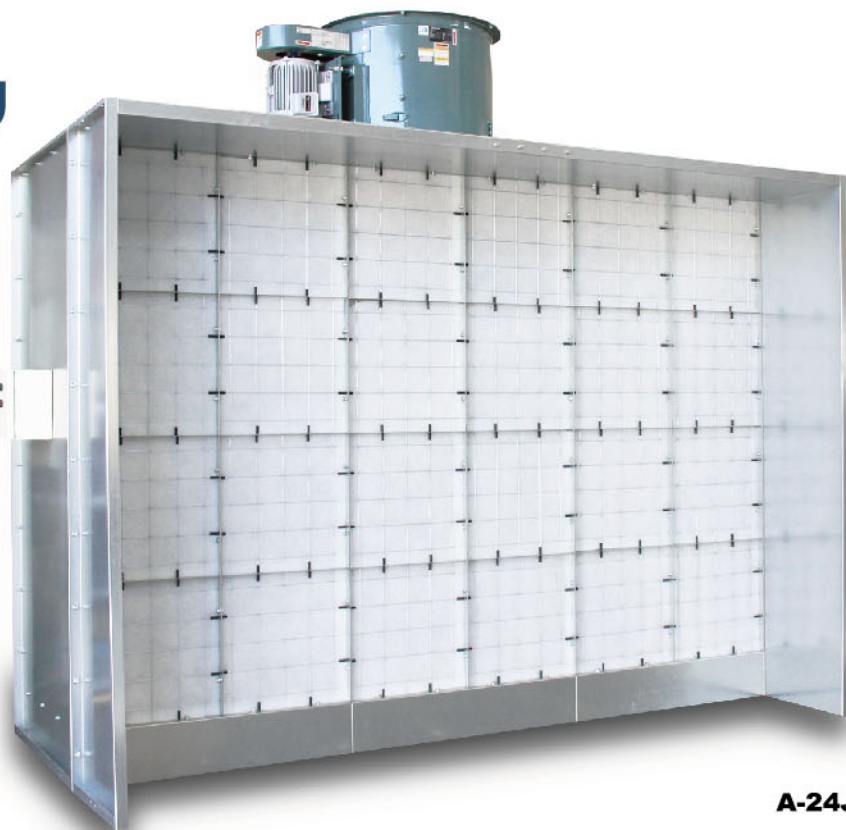
P202012A

ANDEX

作業環境の整備が人財を育てます。

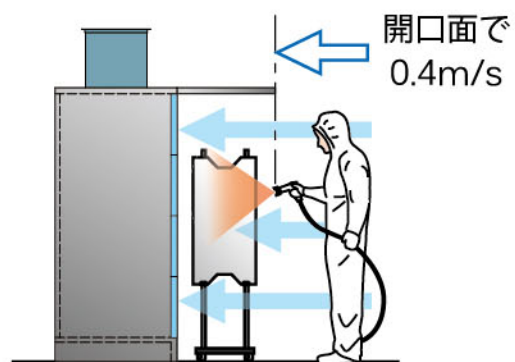
排気マン J series

フード付
軸流ファン
タイプ



A-24J

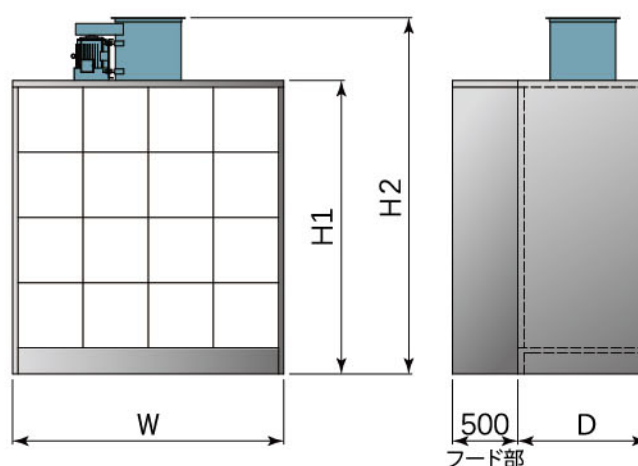
囲い式 局所排気装置



囲い式フードが、塗料ミスの飛散を防ぎます。
ロールフィルター付仕様は塗料ミスの捕集効率と
排気フィルターの寿命を延ばします。

型式・寸法

A-□□J 型



●標準装備

軸流ファン



汎用機採用により
短納期対応が可能
です。

制御ボックス



気密性の高いボックス
により、安全な起動・
停止を可能にしてい
ます。

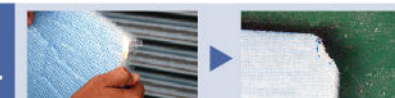
フィルター

AD-2000



捕集効率に優れ、3 μ m
の極小ミスを80%
除去できます。安全
性の高い難燃タイプ
です。

難燃性 フィルター



可燃性 フィルター



●オプション装備

蛍光灯 (フード埋込タイプ)



フード部に蛍光灯を取り付けることで、
ワークを明るく照らし、作業性が向上
します。

仕様

型式		A-9 J	A-12J	A-15 J	A-16 J	A-20J	A-24J	A-28J	A-32J
本体主要材質		亜鉛メッキ鋼板							
電源		3φ200V 50/60Hz							
フィルター枚数	タテ	3			4				
	ヨコ	3	4	5	4	5	6	7	8
ファン	ファン種類	軸流ファン							
	サイズ	φ500				φ700			
	(kW)	1.5		3.7					
	極数	4P		2P/4P		4P			
風量	(m ³ /min)	125		170		280			
静圧	(Pa)	250		280/285		320			
開口面設計風速	(m/s)	0.81	0.61	0.66	0.64	0.84	0.7	0.6	0.53
本体寸法	W(mm)	1580	2080	2580	2080	2580	3080	3580	4080
	D(mm)	1000(フード部含まず)							
	H1(mm)	1750			2250				
	H2(mm)	2232			2732	2852			
オプション		ロールフィルター、アコーディオンフード、インバーター仕様、蛍光灯							

●防爆機器仕様変更は可能です。別途ご相談ください。

※仕様は改良のため、予告なく変更する事があります。

快適な作業環境づくりは、すべてに優先します。

排気マン
S series

大風量
シロッコファン
タイプ



A-24S

排気マン
S series

ロールフィルター付

大風量
シロッコファン
タイプ



A-24S ロールフィルター付

標準装備

シロッコファン



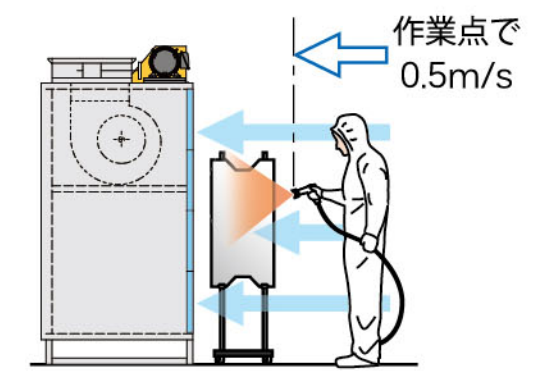
ユニット内に搭載することで、省スペース。大風量を発揮し、静圧にも優れます。

フィルター AD-2000



捕集効率に優れ、3 μ mの極小ミストを80%除去できます。

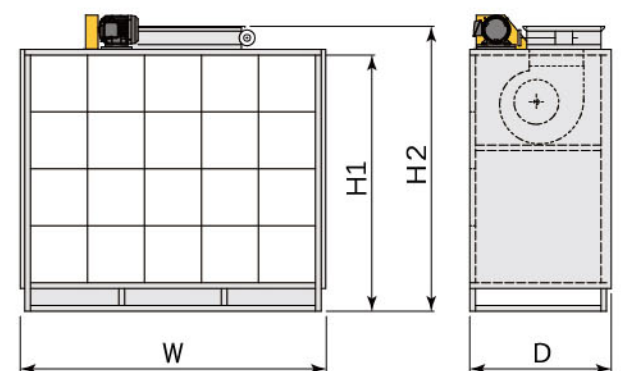
外付式
局所排気装置



大風量のシロッコファンで塗料ミストを捕集します。工場全体の換気にも使用できます。

型式・寸法

A-□□S 型



仕様

型式		A-20S	A-24S	A-28S	A-32S
本体主要材質		塗装 N7.5グレー ・ ASBパネル			
電源		3φ200V 50/60Hz			
フィルター枚数	タテ	4			
	ヨコ	5	6	7	8
ファン	ファン種類	シロツコファン			
	(kW)	5.5	7.5		
	極数	4P			
風量	(m³/min)	340	400		
静圧	(Pa)	400	420		
開口面設計風速	(m/s)	1.13	1.11	0.95	0.83
本体寸法	W(mm)	2680	3180	3680	4180
	D(mm)	1240			
	H1(mm)	2300			
	H2(mm)	2500			
オプション		ロールフィルター、アコーディオンフード、インバーター仕様、蛍光灯			

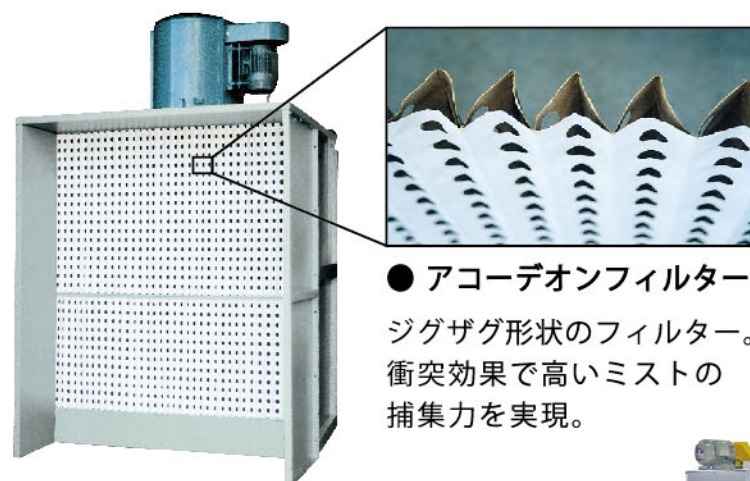
●防爆機器仕様変更は可能です。別途ご相談ください。

※仕様は改良のため、予告なく変更する事があります。

Lineup – Others その他の仕様

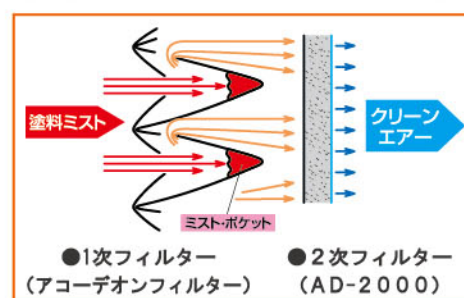
排気マン その他の仕様

アコーディオンフィルター付 排気マン AB型



● **アコーディオンフィルター**
ジグザグ形状のフィルター。
衝突効果で高いミストの
捕集力を実現。

◎フィルターは2層式で捕集効率を高めます。



小型排気マン A-4S

小さいサイズの排気マンも
ご用意しています。

Option 各種オプション

プレロールフィルター・防爆スイッチ



プレロールフィルター

● **AD40**
AD-2000 との組合せ
で、より高い捕集効率
を実現します。



防爆スイッチ

有機溶剤作業場内で、
安全に運転・停止の操
作が行えます。

● 実績写真



アコーディオンフード

排気ユニットに伸縮可能な
フードの取り付けが可能です。
折りたためばスペースがで、
ワーク搬入にも便利です。

さまざまなニーズに応える自由設計。

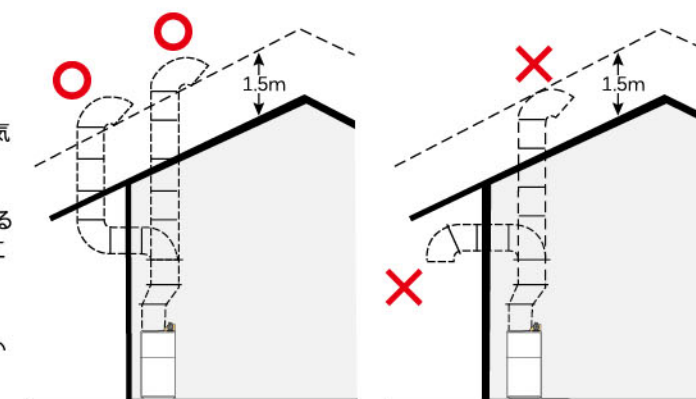
注意事項

排気ダクト施工計画時の注意

排気ダクトは以下の位置に設置してください。

- 労働安全衛生法により、排気口の位置が定められています。排気口の下面が、屋根面より1.5m以上の高さで、直接外気に向かって開放するよう施工してください。
- 排気ダクトは圧力損失を少なくする為、曲がり箇所をできるだけ少なくし、無理のない形状のダクトレイアウトで施工してください。

(注) 排気ダクトの圧力損失が大きく、標準のファンでは対応できない場合があります。弊社営業スタッフにご相談ください。



(全体換気装置の性能) 特例許可申請

有機溶剤中毒予防規則 第三章 第十七条

全体換気装置は、次の表の上欄に掲げる区分に応じて、それぞれ同表の下欄に掲げる式により計算した、一分間当りの換気量（区分の異なる有機溶剤等を同時に消費するときは、それぞれの区分ごとに計算した、一分間当りの換気量を合算した量）を出し得る能力を有するものでなければならない。

消費する有機溶剤等の区分	一分間当りの換気量
第一種有機溶剤等	$Q=0.3W$
第二種有機溶剤等	$Q=0.04W$
第三種有機溶剤等	$Q=0.01W$

この表において、Q及びWは、それぞれ次の数値を表すものとする。
Q：一分間当りの換気量（単位…立方メートル）
W：作業時間一時間に消費する有機溶剤等の量（単位…グラム）

(設置の届出)

局所排気装置、プッシュプル型換気装置を設置する場合、その計画を工事開始日の30日前までに、労働基準監督署に届出が必要です。当社では、手続きに必要な書類作成のお手伝いをしております。

必要書類

- 設置届け（様式第20号）
- 局所排気装置適要書（様式第25号）又はプッシュプル型換気装置（様式第26号）
- 工場全体図、工場周辺見取り図
- 機械の概要図
- カタログ
- 圧力損失計算書

■ 騒音規制法

(特定施設の設置の届出)

第二章 第十六条

指定地域内において工場又は事業場に特定施設を設置しようとする者は、その特定施設の設置の工事の開始日の三十日前までに、環境省令で定めるところにより、次の事項を（内容省略）市町村長に届出なければならない。
※地域の条例により規制値が異なるため、事前の確認が必要です。

■ 振動規制法（都道府県条例、市条例）

ご使用の地域により、条例の確認が必要です。条例が定められている場合、届出が必要となります。

必要書類

- 設置届け（様式1）
- 工場全体図、工場周辺見取り図
- 機械の概要図、機械の使用など
- 隣地境界線での予想騒音値

フィルターに関する特記事項

塗料ミストがフィルターに付着堆積すると自然発火するおそれのある塗料（フタル酸系、アルキド系等）は、排気マンJ型・AB型では絶対に使用しないでください。塗料の付着したフィルターを取り外し積み重ねると自然に発火する可能性がありますので、速やかに処分するか、水に浸してください。